

県下の交通事故 (11月25日現在)

区分	発生件数	死者	傷者
平成4年	4,616件	128人	6,142人
5年	4,796件	85人	6,356人
比較	+3.9%	-33.6%	+3.5%



◇ 第 102 号 ◇  
 発行所  
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11  
 県民会館2階  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 TEL 甲府 (0552) 32-4682  
 (0552) 37-7827

# 年末年始 交通事故防止県民運動

= 12月10日～1月10日 =

## 無事故で越年 笑顔で迎春

年末年始は、交通が混雑しあわただしさも加わるほか、飲酒の機会も多くなり、毎年交通事故の多発が心配されています。このため、県民に交通安全知識を普及して交通安全思想を高めるとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけて、交通事故防止の徹底を図ろうと、「平成5年度年末年始交通事故防止県民運動」が実施されます。

この運動は、県交通安全対策本部と県交通安全推進協議会の主催によるもので、期間は十二月十日から平成六年一月十日までです。県内の交通事故による死者は八十人台で推移しており、死者数の二桁押え込みをひとしく願っているところですが、県民一人ひとりがこの運動に真剣に取り組ましましょう。

今年の全国の交通事故による死者は、十一月二十五日現在、九千六百七十一人で、昨年同期より五百四十七人も減っています。

### 「悲願二ヶタ」もう一息

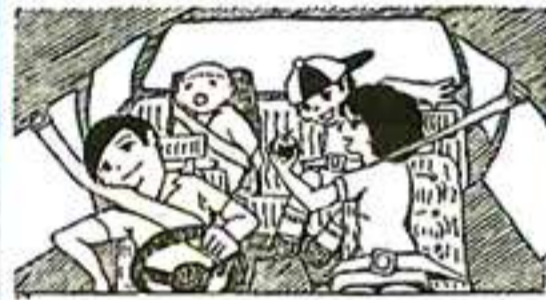
ついでに、全事故の発生件数と傷者は、ともに二万件(一人前後)の大幅増となっています。

県内の十一月二十五日現在の死者は八十五人で四十三人の大幅減となっていますが、全事故の発生件数と傷者は全国と同様に増加(左上欄の統計表参照)しています。このことは、死亡事故への転換の危険性を大きくはらんでいることにもなり、例年死亡事故が増える年末を控え、心配されているところですが、年末は心忙しくなりますが心を新たに「年末年始交通

### 運動の重点



飲んだら乗らない



シートベルトの着用徹底



暴走はやめてお兄ちゃん



さあ、渡りましょう



追放! 迷惑駐車!

一、飲酒運転の絶滅

二、シートベルトの着用徹底

三、若者による無謀運転の追放

四、高齢者と子どもの交通事故防止

五、違法駐車等の締め出し



平成5年度交通安全写真コンクール 最優秀作品

交通安全は家族や友達の命を奪い、平和な家庭と暮らしを破壊するまことに痛ましく悲しいものです。近年車社会と言われる中において、とかく車のもつ利便性や快適性だけが強調されがちですが、その

師走、今年も余すところ後一カ月で終わろうとしています。県では例年この時期は交通事故が多発していることから、県民総ぐるみによる「年末年始交通事故防止県民運動」を実施しています。

交通安全対策室長 今福 誉

交通安全を築いていく上の基礎を、平和な家庭と暮らしを破壊するまことに痛ましく悲しいものです。近年車社会と言われる中において、とかく車のもつ利便性や快適性だけが強調されがちですが、その

交通安全対策室長 今福 誉

交通安全を築いていく上の基礎を、平和な家庭と暮らしを破壊するまことに痛ましく悲しいものです。近年車社会と言われる中において、とかく車のもつ利便性や快適性だけが強調されがちですが、その

平成六年 交通安全年間スローガン  
 最優秀作  
 運動者(同乗者も含む)向け  
 事故は瞬間 ベルトは習慣  
 歩行者・自転車利用者向け  
 止まるはず 老いの甘えが 招く事故  
 とびだす子 はしるくるまが かみつくぞ

冷夏・凶作・米の緊急輸入・冷え続ける経済情勢等々胸にこたえる毎日ですが、いつの間にか冬の到来を告げる南アの尾根に輝く白銀盆地に接する山々の緑・黄から茶褐色への変容、夕陽に映える庭木の鮮やかな紅葉は、時流を知らされ、一瞬、俗世を忘れさせてくれます。

朝、県庁付近を足速やりに行き交う通勤者の吐く息も白い。もう師走。一年の締めくくりとなる月だけに何かと気ぜわしいのが十二月です。続いて新鮮さと雅やかでつるぎを感じさせてくれるお正月。暮れは忙しさを、また、正月はお屠蘇気分、ともに交通事故の激増するのが毎年の傾向のようです。

▼昨年の十二月には二十四人もの方が交通事故で亡くなりました。いつもの月の二倍以上の死者数です。幸いに今年年の死者数は、昨年よりも四十人前後のマイナスが続いており、昭和五十六年の年間死者九十一人以来の「二ケタ押さえ込み」表現の可能性が高まっています。気ぜわしい年の瀬ですが、一人ひとりのいづれも以上の「注意」がカギです。

▼そこで、十二月中には相当数の交通事故死者が出るおそれがある。生きている限り家族ともどもその危険にさらされている。ということを確認かめ合い、より一層の「注意」を合言葉にして、ご家族ともどもこの年の瀬を乗り切ってください。

▼素晴らしい新春を笑顔で迎えたいなら、お祈りいたしておきましょう。





# 交通安全功労者・優良運転者

## 483人、22団体、1事業所表彰

### 優秀安協に塩山、甲府

### 優良安協は南甲府、富士吉田、長坂

### 交通安全功労者 210人

警察本部と県交通安全協会主催の平成五年交通安全功労者・優良運転者等の表彰式が、十一月十七日県民会館大ホールで開催されました。

表彰式には、天野県知事代理渡辺吉彦企画局長、吉村徳則甲府地方検察庁検事正ら多数の来賓のご出席のもと受賞者をはじめ、交通関係機関、団体の役員等約一千人が出席して厳粛かつ盛大にとり行われました。

表彰式は、まず全員で交通安全事故による犠牲者に追悼の黙祷を捧げたのち、近石康宏警察本部長と志村哲良安協会長が主催者としてあいさつを行い、次いで表彰が行われました。

受賞者は、多年にわたり交通事故防止に功績のあった交通安全功労者と団体、日ごろ積極的に交通安全活動に取り組んでおり功労のあった交通安全協会や同役員、永年無事故・無違反で他の模範とされる優良運転者、また、多年職務に精励し功績のあった優良職員等、十二団体、一事業所、八協会、四百八十三人で、表彰状・感謝状と記念品が贈られました。

表彰に続いて、県知事、検事正から祝辞、受賞者を代表して塩山安協種野友規会長があいさつを行い、最後に県中学生交通安全大会の優秀者御坂中二年の西川純一君と城南中一年安友美さんの弁論発表があり、事故防止を訴える率直な意見は参加者に深い感動を与え、盛会のうちに閉会しました。

受賞者は次のとおりです。

〔交通安全功労者〕  
 簡本功、宮尾昭次、小野勝巳、小沢利雄、笠井照彦、中田富康、村松敏雄、萩原和春、堀口菊雄、岡田美子、小野捷夫、沢登富夫、五味栄喜、山本英雄、上村七三三、田中千秋、吉吉邦一、中沢右近、望月辰男、中込勉、木内哲、望月都雄、齊藤滋、金川剛、神宮司直好、丸山牧男、小宮山和子、三枝貞晴、赤坂国男、北井源紀、畑野捷彦、萩原とさわ、佐藤友文、月見健三、藤江三男、坂本貞夫、宮野博一、堀内久芳、内藤一重、鬼島弘典、志村照男、小澤正一、藤本泰男

〔優良交通安全管理者〕  
 有泉四郎、若尾定次、大貫信義、小俣政英、中澤忠一、山下幸男

〔優良運転者〕  
 梅原武伴、河野昭治、小澤春雄、窪田喜作、窪田兼雄、堀内正美、橋本義次、藤原敦、清水裕文、篠原節、森本政久、今井春義、金丸健彦、土屋陽仁、小尾雄、石川勝幸、岩下



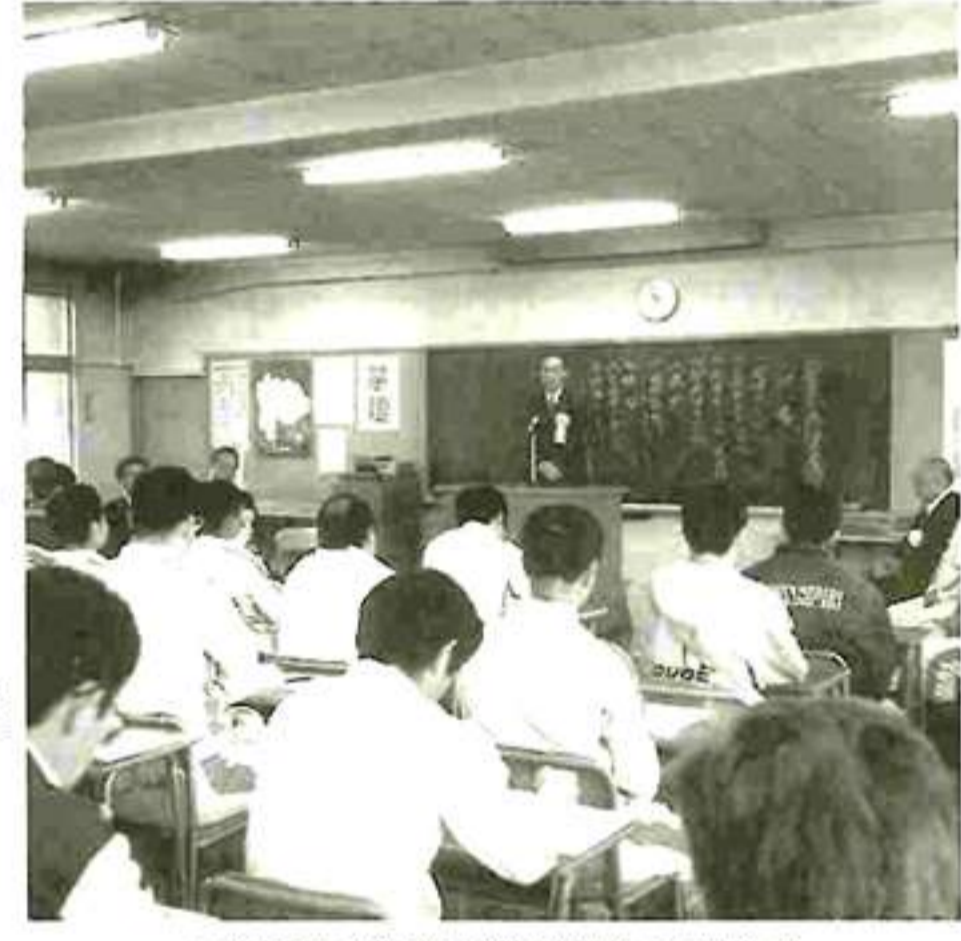
表彰を行う近石本部長と志村安協会長

### 県安協役員が大臣賞等受賞

中小企業基本法施行三十周年を記念して、県安協役員のお二人が大臣賞等受賞されました。心からお慶び申し上げます。

〔通産大臣表彰〕  
 県安協理(県トラック協会 会長) 宮川睦武氏

〔中小企業庁長表彰〕  
 県安協評議員(小笠原安協 副会長) 相沢誠治氏



二輪車安全運転指導講習会の開講式

二輪車指導員講習会  
 免許センターで  
 県二輪車安全運転推進委員会では、十一月六日、原付免許取得時の法定講習や高校生の原付運転指導にあたっての指導員に対する講習会を開催しました。

講習会は、八田村の運転免許センターで

許センターに指導員百十人が参加し、県警運転免許課員と特別指導員によって、「座学」と「実技指導の要領」などの指導が行われましたが、受講者は終日熱心に学んでいました。今後の原付法定講習にあたって、さらに指導能力の高まった指導員の活躍が期待されています。

28名が合格  
 指導員等の認定審査  
 県二輪車安全運転推進委員会では、県交通部運転免許課のご支援を得て、十月六日八田村の運転免許センターで、指導員から指導員へ、また無資格者から指導員への認定審査を行いました。

審査には、指導員への昇格を希望する6人と新たに指導員の資格取得を希望する25人が挑戦し、これを鈴木努運転免許課長以下課員と酒井澄男、輪車安全運転推進委員長以下特別指導員等が、学科・原付車の運転技術・面接の三科目によって慎重に審査しました。

その結果、指導員への昇格は6人全員が認められ、指導員として認定された人は23人でした。

今後の二輪車運転指導にあたっての力強い戦力となることから大いに期待されています。

〔交通安全功労者〕  
 望月辰男、中込勉、木内哲、望月都雄、齊藤滋、金川剛、神宮司直好、丸山牧男、小宮山和子、三枝貞晴、赤坂国男、北井源紀、畑野捷彦、萩原とさわ、佐藤友文、月見健三、藤江三男、坂本貞夫、宮野博一、堀内久芳、内藤一重、鬼島弘典、志村照男、小澤正一、藤本泰男

〔優良交通安全管理者〕  
 有泉四郎、若尾定次、大貫信義、小俣政英、中澤忠一、山下幸男

〔優良運転者〕  
 梅原武伴、河野昭治、小澤春雄、窪田喜作、窪田兼雄、堀内正美、橋本義次、藤原敦、清水裕文、篠原節、森本政久、今井春義、金丸健彦、土屋陽仁、小尾雄、石川勝幸、岩下

〔交通安全功労者〕  
 秋山茂芳、伴野栄、高松廣、望月誠、松田公雄、千頭和勝、水上市、青沼富義、石原文枝、志茂光昭、丸山明男、芦沢雪江、山下政英、幡野剛太田正孝、田辺三好、広瀬安裕、川崎梅与、天野博、山本光恵、小俣政英、金子清満、田中俊作、宮下啓司、羽田三二、小林勝子、伊藤明弘、新田義明、和田博夫、相原秀里、三好貞夫、大迫武士、平山多加雄、久保島完、一之瀬好一、渡辺利己、藤原武高、松本近政、長澤義雄、志村正樹、山王辰則

〔優良交通安全協会〕  
 優秀 塩山・甲府  
 優良 南甲府・富士吉田・

〔交通安全功労者〕  
 努力 日下部、鵜沢・市川  
 ○県警本部長・県安協会長連名感謝状  
 望月秀浩、杉山不二男、大田満子江、羽田輝一、石井由己雄、佐野君枝、稲葉ふで子、村松正江

〔交通安全功労団体〕  
 富士急行(株)甲府営業所、敷島町立敷島北小学校、(株)サンキムラヤ、昭和町立押原小学校、東二条北部自治会、鵜沢増穂ライオンズクラブ、身延町立下山中学校、下部町立下部中学校生徒会、山梨県二輪車安全普及協会、山梨県自動車販売店協会交通安全対策推進協議会、塩山交通安全協会大和支部、足和田村立西浜小学校、(株)エノモト

〔交通安全功労者〕  
 小池一夫、西弘、石川國恵、末木清次、功刀健次、石川彰彦、加藤光彦、松本章章、横森竹蔵、沢登勉、直井達夫、松田季子、田口久、齊藤勇美、市川満、三井照彦、望月武雄、長田正夫、萩原弘康、萩原重徳、手塚三雄、新津国高、井上良之、保坂一尚、森本吉明、飯野幸、山本義武、五味利夫、伊藤賢、柳本百合江、仲田みつ子、高橋武雄、保坂亨、浅川捷夫、福井誠、丸茂三郎、青木四郎、保坂富子、保坂順一、遠藤正二郎、太田勝、佐野了、早川坦男、松田公雄、市川忠利、仲尾富士子、河西克夫、加藤哲哉、赤池次郎、依田一、依田茂男、雨宮明美、中村芳雄、鈴木郁雄、堀内良人、有馬辰男、村田強、秋山光彦、谷沢義雄、萩原桂望月一重、小林森定、桜井新一郎、武居武仁、内田直子

〔優良職員〕  
 大柴五寛、藤森章、深沢照守、渡辺雅美

〔優良職員〕  
 岡部秀雄ほか二六〇人

○県安協会長表彰

この間が誕生日となっている方は、誕生日前一月から更新手続きができますので、早目にすましてください。なお、十二月二十八日までにとりかたできなかった方は一月四日に必ず手続きをしてください。

(運転免許課)

〔交通安全功労者〕  
 甲府トラック運送株式会社  
 (優良運転者)  
 依田貞雄、大久保昌一、横内光明、小林秀三、相川雄一郎、佐藤貞、神宮司政行、廣瀬七良、大森長吉、渡邊義寛、奈良松雄

○交通安全章(緑十字銅章)

●道路交通法の改正  
 去る五月十二日に公布された「道路交通法の一部を改正する法律」は、来年の五月十日から施行されることになりました。

この改正に伴って、免許証の色分けがされ、  
 ○優良運転者用…金色

●新規免許取得者用…若草色  
 ○その他(一般)運転者用…薄青色

また、新規免許取得者用運転免許センターでは、日曜日でも更新ができます。

●年末年始の免許証の更新  
 十二月二十九日から一月三日の間は更新手続きはできません。

★全車種(大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許)の免許の取得ができます。  
 ★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。  
 ★ご希望により送迎もいたします。

財団法人  
 山梨県交通安全協会経営  
**公認 山梨自動車学校**  
 中巨摩郡八田村野牛島1828 (運転免許センター内)  
 TEL (0552) 85-0752



第35回県中学生交通安全弁論大会

西川純一君(御坂中)優勝  
地区代表17人が熱弁



熱弁を振っている弁論大会

県警察本部と県交通安全協会の主催による第35回山梨県中学生交通安全弁論大会が、十月二十九日、甲府市和戸町「リバーズ和戸」で開催されました。

大会は、県内十五地区の予選大会で優勝し、地区代表となつた十七人の中学生が、持ち時間七分で、中学生の立場から交通安全について訴えたもので、白らの体験、それを通じて見出した交通安全のための提言などが真剣に語りかけられ、参加者に強い感銘を与えました。

- 審査の結果「交通ルールの大切さ」と題して熱弁を振つた御坂中学校二年生西川純一君が優勝し、優勝旗と知事賞が贈られました。今年の地区代表のうち、七人が男子生徒であり、男子の優勝も十四年ぶり、男子生徒の関心の高まりを感じさせられました。受賞者は、次のとおりです。
- 〔優勝〕 西川 純一(御坂中)
  - 〔準優勝〕 山梨県知事賞 優勝旗 西川 純一(御坂中)
  - 〔優待賞〕 県議会議員賞 安 友美(城南中)
  - 県警察本部長賞 大澤 隆将(山梨南中)
  - 県教育長賞 齋木 香(武川中)

- 〔優秀賞〕以下出場順
- 杉本 一(都留第一中)
  - 春沢 暉(古岡中)
  - 高田 潤(北西中)
  - 齊藤 春奈(北東中)
  - 佐藤 理恵(大月第一中)
  - 額谷出美子(河口湖北中)

- 山田 絵美(竜王中)
- 金井 良(勝沼中)
- 上條 公子(島田中)
- 鮫田 洋平(増穂中)
- 小尾 直文(須玉中)
- 望月 貴史(下山中)
- 山口 順子(芦安中)

夜の安全を守ろう

夜間の歩行者・自転車用、白転車の交通安全防止を願ひ、県安協では秋の全国交通安全運動を契機として「全日交の幹旋反射材」の活用をすすめています。



反射ワッペン付帽子

「反射材」の販売をはじめましたが、県安協や地区安協への問い合わせや注文がしきりで、ドライバーにわたらせる「反射材」の効用への思い入れの強いことを知らされました。県安協の「反射材幹旋事業」は、必要な人が買いたいと思えば、「いつでも」一個でも「簡単に求められるシステム」であり、これによってひとりでも多くの人に使用して

急告!!

「県安協」名を騙る アンケート調査に「注意」

今年二月ごろから県内の会社、事業所、商店等へ、電話で「安協(または「交通安全協会」)の者ですが」として、〇貴方の交通安全事故が多いので、アンケート調査をしています。〇貴方のところには若い従業員が大勢いるので資料を送りたい。〇〇〇〇は二十歳代の若者二人ぐらいを選んで、住所・氏名を教えてください。といった内容の申し入れがなされており、県安協で把握したものでなくても何件にもはつています。(財)山梨県交通安全協会ではこの種のアンケート調査は全く行っておりませんし、計画もしていません。電話の主は、声の様子から男性は30〜35歳くらい、女性は30歳前後のようです。氏名や電話番号等を尋ねますと、全くデタラメなことを教え、答えに窮すると電話を切つてしまします。県安協はもちろんです。勝手に使われた電話番号のお宅でも大変な迷惑です。そうした電話がありましたら手紙もしくは電話でお知らせをお願いします。なお、そうした際には、県安協へ一報いただければ幸いです。

最優秀賞に高速隊

交通安全写真コンクール 交通安全写真コンクール(二面に掲載) 審査が、十一月十二日古屋城 県警交通部長、米倉功次郎 企画部長、酒井澄男県安協専務等によって行われました。 応募作品は、生々しい事故現場の状況や、ほほ笑ましい登校児童の風景などで、いずれも甲乙つけ難く、審査員は

- 〇佳作 三人
- 〇銅賞 皆川勝廣(石和町) 鮎沢啓交通課、県警高速隊
- 〇銀賞 赤池常雄(甲府市) 県警高速隊
- 〇金賞 山村文子(甲府市) 県警高速隊
- 〇最優秀賞 県警高速隊

自動車や原付自転車には必ず自賠償保険と任意の自動車保険をつけましょう。

損害保険代理店 株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13 日東ビル4階 TEL 0552-28-0691

無料 交通事故 ご相談

電話のご相談もお受けします ☎0552-28-8335 (直通)

相談日: 月曜から金曜午前9時~17時 午後1時~4時(祭日を除く) 〇専門の相談員が親身にご相談いたします。 〇弁護士相談日: 毎月第三木曜日午後1時~4時

社団法人 日本損害保険協会 甲府自動車保険請求相談センター 甲府市丸の内3-1-1住友生命山梨ビル3階 甲府駐在事務所内 ☎0552-28-8810

甲府自動車保険請求センター (住友生命山梨ビル3階)

住友生命山梨ビル3階 富士銀行 甲府支店 西役所 甲府警察署 地方裁判所 中央公園

五月十七日。それは、僕にとって一生忘れられない日となりました。その日の夕方、僕はいつもと同じように、学校から自宅へ向かって自転車を走らせていました。五時半から塾があったので、いくらか急いでいたように記憶しています。そして、いつもの帰り道の、いつもの交差点を曲がったその瞬間、

血痕、グニヤリと曲がった自転車。血のついたカバン、ヒビの入ったヘルメット、そして、フロントガラスが粉々になったワゴン車……。「あの子はもう、だめかもしれない。」両親は、気が遠くなりそうになるのを、懸命に気力をふりしぼって病院へ向かったその瞬間、

停止をおこなったこと、右側通行。それに、自動車の前方不注意でした。こんな大事故で重傷を負ったものの、命をとりとめることができたのは、正に奇跡といってもよいでしょう。僕の命を守ってくれたのは、ヘルメットだったのです。ヘルメットをしっかりかぶり、あ

され、しゃべることもできず、ただただもがくだけの日々。物も食べられず、鼻の管と点滴からしか栄養がとれないので、四キロ以上もやせました。そして、体中の激しい痛みを耐えて、毎日行ったりハビリ

羽、丹精こめて作ってくれたこの千羽鶴も、僕の宝物です。しかし、このように宝物は、これ以上増えてはいけません。千羽鶴が僕の宝物となつたのは、事故には遭つたものの、命をとりとめることができたからなのです。しかし、もし、命がなくなつてしまつていたら、クラス一人ひとりの願いをこめたこの千羽鶴も、僕に届くことはなかったのです。そして、クラスの仲間をはじめ、先生方、両親、妹等、多くの人々に大きな悲しみを与えてしまったことでしょうか。

今、僕の頭には、骨折した骨と骨をつなぎ合わせる金属がはめこまれたままです。このような話をせしめようと思つたのかといえ、この苦しい体験をみなさんに知ってもらうことによつて、交通安全ルールを守ることの大切さについて訴えたかったのです。僕が受けた苦しみを、二度とみ

なさんには味わってほしくないのです。僕の事故がきっかけとなり、御坂中でも、交通安全に対する取り組みをさらに強化しました。まず、ヘルメット着用、呼びかけや、ポスター貼り、交通安全委員会によるヘルメット点検、看板の取り付け等を行いました。この結果、違反者は減り、ほとんどの人がヘルメットをしっかりとるようになっていきました。

「自分の命は自分で守る」これは、この事故を通して学んだ大きな教訓です。交通安全ルールを守るといふことは、自分の命を守るといふことであり、他人を大切にすることに繋がるとは思いません。僕も、もう二度とこのようなことのないように、交通安全ルールを守り、命を大切にしていきたいと思ひます。

うです。そして、お医者さんから「大丈夫。命に別状はありません。」という言葉を聞かすまでは、さき見た事故現場の様子が頭の中をぐるぐる回つて、最悪の事態ばかり思ふ浮かべたさうです。この事故で、僕は頭の骨を折り、全治二カ月の重傷を負いました。原因は、僕が一時

交通ルールの大切さ

御坂中二年 西川純一 (第35回県中学生交通安全弁論大会優勝)



ごひもをキチンとつけていたおかげで、大きな衝撃にもかかわらず、頭には、異常はなかつたのです。もしあの時、ヘルメットをかぶつていなかったら、今、僕がここにいないことかもしれません。僕が入院していた時は、もう想像もできないほど苦しい生活でした。口を完全に固定



# 地区だより

## 秋の交通安全運動

秋の全国交通安全運動は、九月二十一日から三十日までの十日間全国一斉に行われ、県内の各地区安協でも、年間死者数を二桁にするバネにしようと、思いを込めた行事を企画し健闘されました。

期間中の活動の一端を紹介いたします。

なお、期間中の県内交通事故の発生件数は百二件（前年同期比八件減）、死者は六人（二人増）、傷者は百二十七人（十三人減）で、件数、傷者は減りましたが、死者は逆に増加してしまいました。



交通安全運動初日の出陣式 (小笠原)



竜王町の街頭指導所 (南甲府)



夜間交通事故防止の交通安全大会 (甲府)



交通安全ベタンク大会 (市川)



葦崎市街地での交通安全パレード (葦崎)



大泉村での交通安全フェスティバル (長坂)



鬼の扮装で街頭指導 (石和)



町ぐるみの交通安全パレード (鉾沢)



高齢者の交通安全教室 (南部)



交通安全ウォーク・ラリー。お疲れさま。(日下部)



高齢者交通安全教室で指導する安協婦人部 (都留)



街頭指導所で安全運転を呼びかける (塩山)



山中湖で交通安全灯ろう流し (富士吉田)



迷惑駐車車の街頭指導 (上野原)



交通安全フェスティバル (大月)

### 婦人部の活動



甲府交通安全協会  
婦人部会長

横田綾子

私も女性ドライバーは、県内の運転免許人口の46%を占めており、次第に50%へ近づきつつあるといわれています。それだけに女性ドライバー

の交通安全への係わりあいも大きく、ドライバーとしてのレベル・アップを図ることはもちろんのこと、女性ならではの視点に立った地域での地道な交通安全のための活動をすすめていくことが必要となります。

こうしたことから私も、平成元年秋に関係者のご指導をいただいていた婦人部会を創設いたしました。いまでは会員数も大幅に増え、少しでもお役に立てるような活動をしたと日々努力いたしております。今後とも、県下各地区安協婦人部との連携を密にいたし、関係者のご指導をいただきながら、より充実した活動を続けてまいりたいと考えております。

このたび「婦人部の活動紹介欄」が新設されましたので、少しでも早い時期に、胸を張ってご紹介できるような活動をいたしたいと、さらに努力いたしてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



上野原婦人部員の活動

### 新調した制服で通学路確保のPR

上野原婦人部

上野原安協婦人部(東山邦子婦人部会長)では、十月十二日、国道20号線が商店街を貫き、激しく車が行き交う中を縫うようにして登下校する上野原小学校児童の通学路確保のための広報活動を行いました。

当日は、十月初旬に新調された艶やかなピンクの制服と紺色の制帽に身を包み、心も新たにした東山婦人部会長以下十一人の婦人部員が、国道沿いの各商店を訪れ、パンフなど配布しながら、児童の登下校の安全確保と必要に応じた積極的な指導を訴えました。

### 新規映画紹介

「運転者向け」

「安全運転の決め手」

16ミリ・ビデオ・カラ

1・27分

「新・運転の知恵」

16ミリ・ビデオ・カラ

1・27分

「シートベルト」

誰のため 自分のため

16ミリ・カラ・25分

「安全運転教えます」

体験研修と事故に学ぶ

16ミリ・カラ・30分

「安全運転五則」

ビデオ・カラ・22分

### 編集局だより

○ 今回の百一号から、「婦人部の活動」欄を新設しました。ご支援の輪を広げたいと願っております。

○ 百一号では、一部の方のお手元へ、二・三面上半分印刷のものをお届けいたしました。お叱りをいただきました。早速完全なものをお届けいたしました。ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

○ 百一号について都留市の細田晃彦様から「親しみ易くなった」と、「県民に愛読される紙面とするよう努力を」と激励のお便りをいただきました。ご期待に添えるよう一層努力いたしますのでよろしくお願ひいたします。